

再評価調査

事業名	農空間整備事業（ふるさと農道）「岩湧地区」			
所在地	河内長野市清水、唐久谷、加賀田、高向、日野			
再評価理由	事業採択後 10 年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	南河内地域から泉州地域に至る基幹的農道網の一環として、河内長野市南部の急峻な山地により分断された農業集落や農地を相互に結びつける農道を整備し、農産物の輸送体制の強化、地域交流の促進及び生活利便性の向上等を図ることにより、農業・農村地域の振興と定住環境を改善する。		
	内容	延長 5.7 km (国道 371 号線～府道河内長野かつらぎ線) 幅員 9.0 m 道路区分 第 3 種 4 級 2 車線道路		
	事業費	全体事業費：約 83.0 億円 うち投資済事業費：約 43.6 億円 (内訳) 用地費約 17.1 億円 (内訳) 用地費約 6.6 億円 (土地単価約 10.0 千円/m ²) 工事費約 65.9 億円 工事費約 37.0 億円 (工事単価約 115.6 万円/m)		
	維持管理費	事業完了後、施設は河内長野市が管理する。		
	上位計画等の位置付け	・ 大阪府新農林水産業振興ビジョン (H14.3) ・ 大阪府農空間整備基本方針 (案) (H14.7)		
	関連事業	・ 交流ネットワーク総合整備事業「河内長野・和泉地区」		
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析
		事業採択年度：H6 事業着手年度：H6 完成予定年度：H16	事業採択年度：H6 事業着手年度：H6 完成予定年度：H20	年度事業費予算が確保出来ず、4 年間延長した。
	進捗状況	(平成 15 年度末) 用地： 38.6 % 工事： 56.1 %	トンネル工事を施工したことにより、工事が一定進捗した。	
	途中段階の整備効果発現状況	・ 集落内道路が狭小であることから、工事が概ね完了した区間は、地域の生活道路として、周辺住民が利用している。 ・ また、供用開始はしていないものの、本農道沿いの農地への通作路として、農家に活用されている。		
	事業進捗に関する課題	・ 用地買収の推進 共有地の権利者が多数存在するため、事務手続きに時間を要している。		

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		1. 大阪の農空間の状況 農業振興地域面積 33,000ha 農地面積 17,400ha	1. 大阪の農空間の状況 農業振興地域面積 33,000ha 農地面積 15,000ha	1. 大阪の農空間の状況 「大阪府農空間保全・活用指針 (H15.9 策定)」等より、農地面積の減少を抑制する。
		2. 地域の状況 河内長野市人口 114,567 人 隣接 5 集落人口 5,949 人	2. 地域の状況 河内長野市人口 121,395 人 隣接 5 集落人口 5,590 人	2. 地域の状況 市人口はやや増加しているが、隣接 5 集落人口は減少傾向にある。
		3. 南河内地域の「農」に関する状況 農家戸数 8,505 戸 市民農園数 70 ヶ所 朝市・直販所数 14 ヶ所	3. 南河内地域の「農」に関する状況 農家戸数 6,982 戸 市民農園数 93 ヶ所 朝市・直販所数 20 ヶ所	3. 南河内地域の「農」に関する状況 農家戸数は減少しているものの、都市と農村の交流である市民農園及び朝市・直販所は増加している。
	地元等の協力的体制	地元市である河内長野市からの要望であり、事業に協力的である。	隣接集落は、早期事業完了を望んでおり、事業推進に協力的である。	平成 20 年度の完成に向け、引き続き地元の協力を得て、事業の進捗に努める。
		4. 周辺道路の状況 国道 371 号線 混雑度 2.07 (H6) 1.95 (H9) 1.84 (H11)	4. 周辺道路の状況 国道 371 号線の混雑度は、若干減少しているものの、依然として混雑している。	

		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析		<ul style="list-style-type: none"> 具体的な便益効果 走行経費の効果 （時間短縮による走行経費の節減） 生活環境の改善 （道路による周辺立地条件の改善） 受益者 地域住民、府民、農家 	<ul style="list-style-type: none"> $B/C = 2.77$ 総便益 B = 241.4億円 総費用 C = 87.2億円 算出根拠 農林水産省 「解説 土地改良の経済効果」 国土交通省 「費用便益分析マニュアル（案）」 CVM法、トラベルコスト法 	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 安全で新鮮な農産物の提供 南河内地域で生産された安全で新鮮な農産物の提供 災害発生時の緊急輸送路、迂回路の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、府民、農家 	変更点特になし	
	活力	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体の活性化 農地、林地の維持管理作業の向上 谷筋間の生活圏の連携・交流を促進 市域ネットワークの確立 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、府民、農家 	変更点特になし	
	快適性	<ul style="list-style-type: none"> 農山村地域の豊かな自然環境の維持・活用 自然体験活動等への参画機会の増大 幹線道路とのアクセス改善による生活利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、府民 	変更点特になし	
	その他				
自然環境等への影響と対策		<p>道路法面の緑化により、緑の回復に努める。 掘削による発生土を有効活用し、営農条件の悪い周辺農地を改善する。 事業区域を行動範囲とする猛禽類（オオタカ）については、モニタリング調査を行うとともに、専門家の意見等を踏まえ事業を進める。</p>		<p>道路法面保護工として、種子の吹き付けを行っている。 1.7haの農地を整備した。 平成12年からモニタリング調査を9回実施した。</p>	<p>吹き付けを実施した法面では、緑が回復している。 概成道路沿線では、耕作機械による営農が可能となった。 平成12年より工事実施区間でも継続的に猛禽類（オオタカ）の営巣を確認している。</p>
その他特記すべき事項					